

新刊紹介

- 一般書 ○児童書



- 9月1日 母からのバトン／樹木 希林(著)／内田 也哉子(著)／ポプラ社
- 向田邦子の本棚／向田 邦子(著)／河出書房新社
- せき越えぬ／西條 奈加(著)／新潮社



- もし地球に植物がなかったら?／きねふち なつみ(作)／真鍋 真(監修)／ジョン・ブルタン(監修)／あすなろ書房
- となりのアブダくん／黒川 裕子(作)／講談社
- ひとりではぼっち／くすのき しげのり(作)／ふるしょうようこ(絵)／学研プラス

バレンタイン展

期間 2月7日(金)～14日(金)
内容 バレンタインデー・チョコ等について書かれた本を展示・貸出します。

ひなまつり本展

期間 2月15日(土)～3月3日(火)
内容 「ひなまつり」・「春」をテーマにした本を展示・貸出します。



第162回 芥川賞・直木賞

芥川賞

「背高泡立草」 古川 真人(著)

直木賞

「熱源」 川越 宗一(著)

音訳ボランティア「ひだまり」会員募集!

ボランティアに興味のある方、お時間に余裕のある方、音訳ボランティアに参加しませんか?

主な活動内容は、市内の視覚に障がいがある方に向けての「広報まくらざき」の録音作業です。
詳しくは市立図書館までお問い合わせください。

図書館だより

No.331

市立図書館 ☎ 72-9254
ホームページ
<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/>
★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 2月10日～3月9日

日	月	火	水	木	金	土
	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
1	2	3	4	5	6	7
8	9					

- 休館日
- おはなしのへや 午後3時～(絵本と紙芝居の読み聞かせ)

おはなしのへや



- 時間 20～30分ほど
- 場所 市立図書館1階子育て支援コーナー
- 内容 親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをします。



今月の担当は 幸田隊員です!



こんにちは、地域おこし協力隊の幸田です。
枕崎に来てもうすぐ2年。残りの任期あと1年、頑張ります。

地域おこし協力隊 活動レポート

協力隊が行く!

移住フェア

昨秋、「地域の魅力発見!移住&地域との関わり創出フェア」『大阪にリトルカゴジマがやってくる』と横浜・大阪で開催された2度の移住フェア・イベントに枕崎ブースを出展してきました。
横浜は移住希望者だけでなくサテライトオフィスやふるさとワーキングホリデーなど都市部と地域との関係人口に着目したフェアで、別の会場ではふるさと納税のPRも同時に行われており地方への関心の高まりがうかがえました。
大阪のイベントではプレゼンタイムで枕崎市をPRするとともに、移住希望者に対して情報提供・相談を行いました。昨年度からたびたびこのような移住イベントには参加していたのですが関西では初めて。
今後移住者の一人としての視点から移住希望者を後押しできようやっつけていきたいと思っております。

従来の地方創生における移住・定住施策の行き詰まりから脚光を浴び始めた言葉だと思いますが、この言葉が出てくる前からそのような関わり方をしている人は多くいて、もちろん枕崎とも多様な形で関わっている市外の方もたくさんいます。
関係人口という言葉を用いる際、単なる人数の多寡だけではなく、どのような関係性を築いているのか重要なと感じた今回の移住イベントでした。
自然と一体!あそびと暮らしの里山体験
昨年11月に木小屋集落の自然花で「自然と一体!あそびと暮らしの里山体験」が開催されました。自然花最大規模のイベントで餅つきや草木染め、鯉節削りなどの体験やサツマイモの収穫などが楽しめるウォークラリーなど、当日は多くの参加者で賑わっていました。最近では自然体験や季節感を感じる機会が少なくなってきたので、こうしたイベントは貴重な機会だと思えます。私もスタッフとして参加していたのですが、市内外から多くのボランティアの方がお手伝いに来てくださいました、ありがとうございました。
自然花では普段もさまざまなイベントや体験活動を行っているので機会があればぜひ参加してみてください!

市長 コラム vol.11

ONとOFF

こんにちは。前田祝成です。
先月のコラムでは、仕事について書きました。今月は、ONとOFFということで、オフについて書こうと思います。
私はよく人から「忙しいでしょう」と言われます。そんな時は「いいえ、忙しくないですよ」と答えます。というか、答えるようにしています。もうこれは癖です。以前の仕事の時も、このように答えていました。「忙しい」と口に出すことが嫌いなのです。「忙しい」という字は「心を亡くす」と書きますね。まさに心ここにあらずの状態が「忙しい」と書きまます。まさに、嫌いなのです。なので、「忙しいでしょう」と言われて「はい、忙しいです...」と答えたことがあります。事実、そんな忙しいこともないのです。実際のところ、「忙しい」という認識を持たなければ、予定が埋まっても「忙しい」という感覚はなくなってくるものです。
話が横道に外れました。OFFの話です。オフ、つまり仕事以外の時間に何をするかという話です。昨年末は4日間ほど全く公務の入らない、まさにOFFの時間が取れました。私のオフの楽しみは、本を読む、走る(ランニング)、最近では歩く(ウォーキング)、筋トレ(腹筋・ダンベル)、ラジオを聴く、といったことです。これらは趣味です。そのほか、アイロンがけ、靴磨き、といったこともしますし、年末は本棚の整理、大掃除もしました。先月のコラムで「趣味は自分のため、仕事は自分のための誰かのため」に書くことと書きました。まさに、オフの時間を過ごす趣味は、自分のためのものです。ただ、この自分のための時間も実は大事だと思っていて、この自分のための時間が充実することによって、仕事にまた集中できる。このONとOFFの切り替え、メリハリが大事だと思う、この頃です。

燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

燃ゆる感動かごしま国体枕崎市実行委員会では、かごしま国体の運営等にご協力いただけるボランティアを募集しています。令和2年1月22日現在で30名の方が登録しています。昭和47年の「太陽国体」以来、48年ぶりの鹿児島県での国体開催。国内最大級のスポーツイベントに関われるチャンスです!一緒に「燃ゆる感動かごしま国体」を盛り上げましょう。皆さんの応募をお待ちしています。

■ 応募要件

- 本市内に在住、通学または通勤する中学生以上(応募時点で18歳未満の方は保護者の同意が必要)の個人・グループ
- 市外在住で、本市でのボランティア活動に意欲のある個人または本市に活動拠点を有する団体

■ 応募方法

登録申込書に必要事項を記入の上、燃ゆる感動かごしま国体枕崎市実行委員会事務局まで持参、郵送、FAX、またはEメールによりお申し込みください。
※登録申込書は、市ホームページからダウンロードするか、市役所市民ホール等に備付けのものをご利用ください。
◎その他、詳細については、燃ゆる感動かごしま国体枕崎市実行委員会ホームページ(<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/kokutai/10833.html>)をご覧ください。

■ 問合せ

保健体育課国体推進係 TEL72-0170